

調査アドバイザー及び 調査アドバイザーリーグループの設置について（案）

以下の趣旨を踏まえ、第4回休眠預金等活用審議会において、「調査アドバイザー」及び「調査アドバイザーリーグループ」を設置する。

【趣旨】

- ・ 審議会での議論の中において、「イノベーションの創出と裏表の関係にあるリスクを一定程度許容する必要性やそのための事業に係るあらゆるプロセスにおける評価の重要性、社会的課題を解決するためには革新的な手法の開発が不可欠である」といった論点が出されたところ。
- ・ このような事項を休眠預金等活用審議会で審議するにあたり、調査アドバイザーリーグループは、「我が国における先端的な取組や欧米の先進事例についての事実関係及び審議会で議論すべき論点を事務局とともに整理し、審議会に提示する」役割を担う。

【構成員（案）：別紙参照】

【開催日時（予定）】

- ・ 第1回会合 平成29年10月10日（火） 15:00～17:00
- ・ 第2回会合 平成29年10月27日（金） 15:00～17:00

【議事の公開】

- ・ 透明性確保の観点から、資料及び議事概要については公開するものとする。

(別紙)

【調査アドバイザーグループ構成員(案)】

○座長（調査アドバイザー）

堀内 勉 多摩大学大学院特任教授

○メンバー

青柳 光昌 一般財団法人社会的投資推進財団代表理事

鵜尾 雅隆 認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会
代表理事

小林 立明 学習院大学国際研究教育機構准教授

白石 智哉 一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ
代表理事

橋本 芳樹 Aavishkaar 投資委員会委員兼アドバイザー

蛭間 芳樹 株式会社日本政策投資銀行サステナビリティ企画部
調査役

程 近智 アクセンチュア株式会社取締役相談役（※審議会会長代理）

山中 礼二 学校法人グロービス経営大学院准教授

(敬称略、五十音順、以上 9名)